

～事前に必ずお読みください～



留意事項

【災害時のボランティア活動の心得】

1. 被災地でのボランティア活動は、ボランティア本人の自発的な意思と責任により被災地での活動に参加・行動することが基本です。
2. まずは、自分自身で被災地の情報を収集しましょう。家族の理解も大切です。その際には、必ず現地に設置されている災害ボランティアセンターホームページを熟読し、災害ボランティアや物資の募集などの被災地支援の最新の情報をご確認ください。被災地の災害対策本部、災害ボランティアセンターに安易に電話や電子メールで問い合わせることはできる限り控えてください。
3. 被災地での活動は、危険がともなうことや重労働となる場合があります。安全や健康はボランティアが自分自身で管理することであることを理解したうえで参加してください。体調が悪ければ、参加を中止することが肝心です。
4. 被災地で活動する際の宿所は、ボランティア自身が事前に被災地の状況を確認し、手配してください。水、食料、身の回りのものについてもボランティア自身が事前に用意してください。その他、活動場所・内容によって必要とされる持ち物がありますので、それぞれの災害ボランティアセンターのホームページでご確認ください。また、地震の被害の大きいところではガソリンの調達が厳しい状況です。車で現地に入られる際には必ず往復のガソリンの確保をしてから現地にお入りください。
5. 被災地に到着した後は、必ず災害ボランティアセンターを訪れ、ボランティア活動の登録を行ってください。
6. 被災地における緊急連絡先・連絡網を必ず確認するとともに、地理や気候等周辺環境を把握したうえで活動してください。
7. 被災地では、被災した方々の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーある行動と言葉づかいでボランティア活動に参加してください。現場（個人の家・敷地内）での写真撮影は原則禁止！ 記録として必要なときでも、必ず家主等に許可をもらってから撮るように！ 写真撮影は災害ボランティアセンターや公道で行ってください。
8. 被災地では、必ず災害ボランティアセンターやボランティアコーディネーター等、現地受け入れ機関の指示・指導に従って活動してください。
9. 自分にできる範囲の活動を行ってください。休憩を心がけましょう。無理な活動は、思わぬ事故につながり、かえって被災地の人々の負担となってしまいます。
10. 備えとして、必ずボランティア活動保険（※）に加入しましょう。

（全国社会福祉協議会HP参考）

【ボランティア活動保険について】

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任を保障する保険があります。活動場所と自宅との往復途上の事故も補償の対象となります。ボランティア自身の食中毒や特定感染症、熱中症も補償されます。

地震、噴火、津波によるケガの補償については、全社協のボランティア活動保険天災Aタイプ（年額500円）、天災Bタイプ（710円）に加入されてないと補償されません。

補償期間はその年度の3月31日までですのでご注意ください。

また、ボランティア保険は、事前に在住地等（又は出発地）の社会福祉協議会で加入いただきますようお願いいたします（自己負担が原則です）。

災害復旧作業に尽力している被災地の負担を少しでも軽減させるため、ご理解とご協力をお願いいたします。ボランティア保険の詳細はこちら↓

https://www.fukushihoken.co.jp/fukushi/front/council/volunteer_activities.html